

宇宙に生き、地上で活かす

2020.2.29(土)

サイエンスのひろば

定員:80名

13:00-14:45

「宇宙と科学の未来を語ろう！」～宇宙に生きるために～

「宇宙に生きる」ために日々研究に励む研究者といろいろお話してみませんか？

この「サイエンスのひろば」は、研究者から、宇宙に生きるための研究をわかりやすくご紹介し、その後、参加者のみなさんといろいろなお話をしてみたいと企画いたしました。未来の宇宙研究を担う学生のみなさん！宇宙好きなみなさん！このチラシを見てちょっとだけでも興味を持っていただけたみなさん！どうぞお気軽にご参加ください！！みなさまと交流できますこと、領域研究者一同、楽しみにしております。

MESSAGE



古川 聡



茶谷 昌宏



高橋 智



平坂 勝也



北宅 善昭



國枝 武和



東谷 篤志

13:00-14:00

■ パネルディスカッション 宇宙に行くと、どうなるの？

14:00-14:45

■ ブレインストーミング 宇宙についてなんでも語ろう！

パネリスト

- 古川 聡 (JAXA) 宇宙の一人野球「宇宙で身体はどう変わる？」
- 茶谷 昌宏 (昭和大学) 宇宙のメダカ「上下の無い水中の世界～宇宙へ行ったメダカに何が起きた～」
- 高橋 智 (筑波大学) 宇宙のマウス「マウスは宇宙でどうやって寝るのか？～マウスの宇宙実験から～」
- 平坂 勝也 (長崎大学) 宇宙のごはん「宇宙滞在に適した食事とは？栄養素の機能性から考える」
- 北宅 善昭 (大阪府立大学) 宇宙の農業「宇宙で生きるための植物の役割を考える」
- 國枝 武和 (東京大学) 宇宙のクマムシ「地球生命の知恵を宇宙に活かす」

コーディネーター ▶ 東谷 篤志 (東北大学)

公開シンポジウム

定員:450名

15:15-18:45

科研費 新学術領域研究「宇宙に生きる」一般公開シンポジウム ～宇宙に生き、地上に活かす～

15:15-15:35

■ はじめに

古川 聡 (領域代表・JAXA) 新学術領域研究「宇宙に生きる」5年間の取組

15:35-16:00

瀬原 淳子 (京都大学) 宇宙に生きるゼブラフィッシュ

16:00-16:25

森田 啓之 (岐阜大学) 宇宙から還って来ると立てない:重力感知器官がおかしい！

16:25-16:50

柿沼 志津子 (量子科学技術研究開発機構) マウスを用いた放射線リスクの評価と防護

16:50-17:05

コーヒーブレイク

17:05-17:30

阪上-沢野 朝子 (理化学研究所) 宇宙での細胞機能を理解するための可視化技術開発

17:30-17:55

岩崎 賢一 (日本大学) 宇宙で人体の血のめぐりはどう変わる？

17:55-18:35

■ 特別講演

斎藤 環 (筑波大学) 宇宙空間における対話可能性

18:35-18:45

■ おわりに



古川 聡



瀬原 淳子



森田 啓之



柿沼 志津子



阪上-沢野 朝子



岩崎 賢一



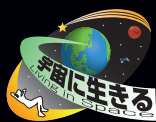
斎藤 環

参加費
無料
【事前申し込み制】

宇宙に生きる



申し込みはこちら ▶



本シンポジウム・サイエンスのひろばは、本領域研究成果を広く公開することを目的として日本学術振興会より助成を受け開催いたします。
【お問い合わせ】 宇宙航空研究開発機構 (JAXA) 内 「宇宙に生きる」事務局 Mail: Z-OFFICE_LIS@ml.jaxa.jp